

常なる磐

つねなる いわ season II
令和3年9月28日(火)
その3

◇ 東京オリンピック 2020 を振り返る

開会式で最も印象に残っているのは、「これ」である。【TOKYO ピクトグラム】



ピクトグラムは、一見で即時的に分かり、国際的に伝わる伝達絵文字である。右に示した「非常口」や「歩行者用信号機」も、このピクトグラムにあたる。



道路標識のマークもこの仲間である。日本では、1964 東京五輪を境として、**右折禁止** や **一旦停止** など、文字の看板が主流であったものが、現在のピクトグラム方式の道路標識に切り替わっていった。

これは、1964 東京五輪でピクトグラムの有効性が確かめられたことが大きい。さらに 1964 東京五輪では、競技を示すピクトグラムのほか、「トイレの表示」など各所で使用された。

ピクトグラムは、一見で分かり、言葉の壁を克服する手段として、その後も五輪等の国際イベントをはじめとする様々な場面で用いられるようになっていく。



つまり 2020 東京五輪の「ピクトグラム・パフォーマンス」は、歴史を振り返りながら歴史を紡ぐ「大きな意味」があったのである。

※陸上はほぼ同じ。水泳は手の向きが異なる。柔道の特徴が出ているのは 2020。ホッケーは 1964 もよい。

【おまけ】

ピクトグラムを調べる上で、道路標識の画像を NET 検索していたところ、右の画像を見つけた。

400m の道路間で、実に 27 もの「一旦停止」標識があるそうだ。おそらく事故頻発エリアだろうが、車で 400m の距離を抜けるのに、いったいどれくらいの時間がかかるのだろう…。

